

令和7年1月 定例教育委員会会議録

〈 開会 10時00分 〉

開 催 日	令和7年1月23日（木）10時00分～11時40分			
開 催 場 所	半田市役所 庁議室			
出 席 委 員	教 育 長	榊 原 雅 晃	委 員	堀 崎 隆 資
	委 員	新 美 大	委 員	久 米 宏 和
	委 員	桂 優 子	委 員	正 村 日 登 美
説 明 の た め 出 席 し た 職 員	教 育 部 長	森 田 知 幸	学 校 教 育 課 長	内 藤 誠
	主任指導主事	木 下 稔 章	指 導 主 事	高 下 隆 史
	指 導 主 事	西 尾 睦 美	給 食 セ ン タ ー 所 長	榊 原 秀 夫
	生涯学習課長	青 木 美 希	ス ポ ー ツ 課 長	加 藤 計 志
	スポーツ課主幹	河 合 信 二	図 書 館 副 主 幹	田 村 元 成
	博 物 館 長	関 正 樹	新 美 南 吉 記 念 館 長	遠 山 光 嗣
事 務 局	学校教育課総務担当主査 羽根 広			
報 告 事 項	■議案 (1) 幼稚園給食費について ■報告事項 (1) 令和6年度学校訪問・園訪問のまとめについて (2) 令和6年度半田市教育委員会表彰式について (3) 寄附、後援願等について (4) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について (5) 令和7年度 半田空の科学館・半田市体育館の臨時開館・臨時休館について (6) 令和6年度半田市スポーツ協会表彰式について (7) スポーツフェスタ2025について (8) 令和7年度 半田福祉ふれあいプール・青山記念武道館臨時会館・臨時休館について (9) 各種事業について ①「令和7年半田市二十歳の集い」の開催報告 ②「ロビーコンサート」の開催 ③「アニメーション監督 新海岳人講演会」の開催 ④「親子で落語を聞こう会」 ⑤「人形劇」 ⑥「大人のための図書館・博物館探検ツアー」 ⑦亀崎図書館「オタツシャ音読教室 2025 如月」 ⑧ミニ展示「ひなまつり展」			

	⑨旧中埜家住宅・桐華学園「和布あそび小物づくり」 ⑩「第39回半田市博物館友の会合同展」 ⑪「ペーパーアート教室」
各課事務連絡	博物館、学校教育課、教育部長、新美南吉記念館

＜議事録＞

1. 前回の会議 録の承認	(事務局) 12月定例会の会議録について概要説明 → 承認
2. 教育長報告	(教育長) 1月8日、知多地方教育事務協議会に出席した。議事としては、今年度の事業報告、決算報告、次年度の事業計画、予算等が諮られた。次年度も例年同様の事業が計画されている。 12日、消防出初式と二十歳の集いに出席した。出初式は、少年消防クラブの児童や長根幼稚園の園児が参加していた。寒い中、立派に役割を果たしており感心した。二十歳の集いは、例年以上に整然とした雰囲気の中で式典が滞りなく実施された。亀崎中学校の校長だったときの卒業生にも再会できた。 16日、愛知県都市教育長協議会に参加した。講演会では、「教職員の多忙化解消に向けて」をテーマに、学校・園専門のコンサルティング会社「先生の幸せ研究所」の若林氏から話があり、大変有意義な内容だった。指導主事を中心に共有を図り、今後の学校業務改善や授業改善等に役立てたい。 18日、半田商工会議所青年部発足60周年記念式典に参加、20日には半田青年会議所新春賀詞交歓会に参加した。いずれも半田市及びその周辺の若手事業主を中心とする組織で、世代的には小中学生の保護者年代。そうした方々が、自社の繁栄はもちろんだが、地元地域の発展にも貢献しようという思いで集まっている。また、異業種の仲間と協力してこのような催しを開催する姿勢に感動した。子どもたちは、有名なスポーツ選手やメディアに取り上げられる人に憧れがちだが、地元で働き地元貢献する大人たちも同じ社会人であり、子どもたちと触れ合う機会さえあれば、きっと憧れる子もいると思う。また、子どもたちに憧れられるような存在になっていただきたい。この立場になったことで初めてこういった場に参加させていただき、新鮮な目で見られてとてもよかった。
3. ■議案 1) 幼稚園給食費	(給食センター所長) 令和7年4月から、半田、乙川、成岩、宮池、花園の市立幼稚園5園において、給食の提供を新たに開始する。

	これに伴い、幼稚園給食費について、半田市学校給食運営協議会へ諮問した結果を報告する。 給食費については、半田市学校給食運営協議会の意見を聞いて教育委員会が定めることと規則に規定されている。そのため、学校給食費の改定の時と同様に、幼稚園給食費についても、その決定を本会にお願いするものである。 答申内容は次のとおり。 1. 給食費の徴収方法は、月額定額徴収とする。 この徴収方法については、半田市の公立保育園と亀崎幼稚園の規定に準じている。 2. 給食費の額は、園児が月額4,590円、教諭等が月額5,508円とする。 園児の月額については、1食あたりの単価270円に、ひと月の平均日数17日をかけて算出している。270円の内訳を表に記載しているが、牛乳は幼児の適正量である100mlパックで提供する。 主食と副食については、文科省が定める「学校給食摂取基準」の5歳児における各栄養素の摂取基準値に基づき、食材の量を小学校中学年の8割にして算出している。 教諭等の月額については、主食の量を中学校と同等にするため、主食の単価比1.2を参考にし、全体に1.2をかけて算出している。 なお、令和7年度については、園児の給食費に対し、月額680円、1食あたり40円を公費負担し、学校給食と同様に、子育て世帯の負担軽減を図る。 (堀崎委員) 徴収方法は、小中学校と同じか。 (給食センター所長) 徴収は、亀崎幼稚園と同じく、学校教育課が徴収する。小中学校は公会計化するために徴収金システムを導入したが、幼稚園はそもそも公会計で管理しており、学校と同じシステムは導入しない。 (堀崎委員) 給食を導入することで、現場の事務負担が増えることはないか。 (給食センター所長) 給食受入パートを1名ずつ配置する。徴収に関して現場の負担は増えない。 (教育長) では、提案のとおりとしてよろしいか。
--	---

	(教育委員) 異議なし (教育長) 提案のとおり進めてください。
3. ■報告事項 1) 令和6年度 学校訪問・園訪問のまとめ	(主任指導主事) まず、学校訪問のまとめについて、項目ごとに要点を絞ってお伝えする。 公開授業については、教育委員のみなさんを始め、教育行政の関係職員も学校訪問参観の機会があり、学校現場の実情を知るよい機会となった。 各小中学校は、新しい教育に向けた研究に積極的に取り組んでくれたが、新たな指導方法に取り組む中에서도、児童生徒に何を学ばせるかという基本を意識した上で指導案を作成するよう促していきたい。 特設授業については、授業後の協議会が活発な学校が多く、若手教員からベテランの教員まで、全体でしっかり議論する姿が見られた点がよかった。協議会の中で課題にしていた学校もあったが、特別な授業という意識が強すぎて、内容が盛りだくさんになってしまい、児童生徒が消化不良になってしまった授業も見られた。 学習指導の充実では、各校におけるタブレット端末の利活用がさらに進み、定着したように思う。使用に際してのルールの定着を図ることも同時に進めていくことが、今後さらに重要になると感じた。 特別支援教育の充実については、半田市のきめ細やかな指導が各校の対応にしっかりと反映されていると感じた。保護者との連携については、さらに充実させることができると考えた。 校内現職教育の推進については、教育の本分である教科指導の充実に向けて、新たな教育課題を意識したり、研修方法などを工夫したりしながら、全校体制で進めている様子が見られた。新しい教育の研究に関しては、始まったばかりであり、継続した取組を促していきたいと思う。 健康教育の充実については、児童生徒の健康管理や危機管理に対して養護教諭を中心にしっかり意識していることが分かった一方で、これまでの感染症対策で身に付けてきた対応を引き続き意識することの重要性も感じた。 表簿類については、各校で適切に対応していることが抑止の成果につながっている表簿管理がある一方で、表簿管理の不備が大きな事故につながる可能性も課題として挙げたため、適切な表簿管理を今後も指導していきたい。 続いて幼稚園訪問のまとめを説明する。 訪問計画の立案及び訪問方法では、事前打合せが当日の協議の充実度

	を左右することを感じるとともに、さらによりよい訪問にするための課題も見つかった。 公開保育については、学校や保育園の先生方に参観してもらう機会が増え、園と学校の相互理解の一助となっている。公開保育において子どもの主体性を発揮させる活動の計画や支援の方法については、正しい理解を共有していきたい。 特設保育については、特設保育に取り組む教師の力量向上に有効であるとともに、特設保育をさらに有意義なものにするために、参観者がしっかり視点をもつことが必要になると感じた。 諸表簿については、週案・日案の内容を見て、記録が翌日の保育に効果的につながっていると感じた。今後は、園での諸表簿の管理について、ICTを活用した体制作りをする必要がある。 園内現職教育の推進については、どの園も、自発的な遊びを通して学んでいく幼児の姿に着目した現職テーマを掲げていた。特に、幼児の実態に合わせた環境の構成に工夫が見られ、幼児教育における環境の大切さを再認識した。各園で取り組んでいることが、園訪問だけで終わらずに、年間を通して深めていくことが重要であることを伝えていく必要を感じた。
2) 令和6年度 半田市教育委員会表彰式	(指導主事) 令和6年度半田市教育委員会表彰式を、令和7年2月8日(土)午前10時30分からアイプラザ半田において実施する。 今年度の受賞者は、全体で個人248名、団体が4団体となった。受賞者は教育委員会表彰規程に基づき、4つの区分においてその功績により決定している。 後ほどスポーツ課からも説明があるが、当日は半田市スポーツ協会表彰式も併せて実施する。
3) 寄附、後援 願等	(学校教育課長) ・寄附 5件 ・後援名義使用許可 9件 (正村委員) 1月19日開催のイベントの報告があったが、イベント開催日に対しての申請の期限は特に設けていないのか。開催日直前の申請でもいいのか。 (事務局) 当該イベントの申請は12月18日付けで受け付けたため、前回の定例教育委員会には報告が間に合わなかった。申請期限は特に設けていない。

	(新美委員) 児童生徒にあまり関係ないイベントもあるように感じるが、後援名義の使用許可をもらうことのメリットは何か。 (学校教育課長) 瀧上工業雁宿ホールなど、公共施設の使用料が減免されたり、イベントPRのために小中学生またはその保護者にチラシを配布することができるため、申請されていると思われる。
4) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等	(指導主事) 令和6年12月24日～令和7年12月21日の交通事故・問題行動等について。 交通事故：1件 1月20日(月) 1件 問題行動(被害)等：0件 交通事故以外の事故：0件 学校等被害等：0件 不審者情報：4件 1月10日(金) 1件 1月14日(火) 1件 1月20日(月) 1件 1月21日(火) 1件 (桂委員) 不審者情報が増えているが、下校時刻に青色防犯パトロールとして巡回するなどして警戒させられないか。 (新美委員) 自治区の中には、曜日を決めて青色パトロール隊が回っているところもある。ただ、日中は仕事をしている人も多いので、回る時間としては夜が多い。 (部長) 市は、月に1回、15時から16時まで5台の公用車で中学校区を青パトで巡回している。青パトの所管課に不審者情報を共有し、巡回の地区や時間帯について相談する。 (生涯学習課) 少年愛護センターの指導員は、毎日市内巡回している。不審者情報も共有しているので、手厚くパトロールしてもらうようにする。

	(久米委員) 不審者情報は、一般の人が知る機会があるのか。 (指導主事) 保護者の許可を得て学校メルマガで配信しているので、保護者や地域の方々の中でも学校メルマガに登録している方にはメールが届いている。 (久米委員) 学校メルマガに登録していないと、他では知りようがないか。情報が拡散され、警戒していることが犯人に伝わるといいと思う。 (指導主事) 例えば亀崎小学校では、通学路の見守り等をしていただいているボラパトさんにも学校から周知する。他にもそういった方法で地域の方々に展開している学校もある。 (堀崎委員) 2年続けて爆破予告が届いているが、警察の対応はどういった状況か。 (指導主事) 今回は、今まで以上に情報がほしいと言われている。警察としても犯人を捕まえたいという気持ちは伝わってくる。 (生涯) 昨年、瀧上工業雁宿ホールにも同じようなメールが届いた際、警察に連絡したところ、すぐに来てくれた。鑑識まで来ており、犯人を捕まえたいという意味は感じた。10人くらい来て、1日中見回ってくれた。 (学校教育課長) 市役所庁舎が爆破予告対象となったこともある。また、模倣犯もいるよう。海外のサイトを複数経由して送られてきており、追うのは難しいと聞いている。
5) 令和7年度 半田空の科学館・半田市体育館の臨時開館・	(生涯学習課長) 半田空の科学館・半田市体育館は、各条例施行規則により、年末年始と毎週月曜日を休館日と定めているが、令和7年度は春・夏・冬休み期間中を始め記載の日を臨時開館する。一方、全館メンテナンスにより記

臨時休館	載の日を臨時休館する。また、空の科学館においては、11月25日の愛知県民の日学校ホリデーの臨時開館に伴い、翌26日を臨時休館とする。
6) 令和6年度 半田市スポーツ 協会表彰式	(スポーツ課長) 先ほど半田市教育委員会表彰についての説明があったが、同時に開催するスポーツ協会の表彰式。 受賞者は、特別体育功労賞4名、体育功労賞8名、スポーツ賞27名1団体である。表彰基準は記載のとおり。スポーツ賞の27名1団体は、教育委員会表彰とダブル受賞ということになる。
7) スポーツフ ェスタ2025	(スポーツ課長) 2月23日に、さくら小学校の体育館でニュースポーツを中心としたスポーツフェスタを開催する。 参加費用は無料で、ボッチャやバグジーといったニュースポーツ等、記載の種目について、みなさん自由に楽しく取り組んでいただけるもの。市報2月号、ホームページでもお知らせする。また、児童センターや学校にも案内を差し上げる予定としている。 (桂委員) 主にこういった年代の方が参加されるのか。 (スポーツ課長) 小学生を中心として親子で参加される方が多い。 他には、学童（放課後児童クラブ）や放課後等デイサービスといった団体で参加いただく方も多い。例年100名程度に参加いただいている。障がいのある方にも楽しんでいただける種目のため、そういった団体も来てくれていると思う。
8) 令和7年度 半田福祉ふれあ いプール・青山 記念武道館臨時 会館・臨時休館	(スポーツ課長) いずれの施設も指定管理者が管理をしており、指定管理者からの申し出により臨時開館・閉館するもの。 半田福祉ふれあいプールは、夏休み期間中の休館日を臨時開館する。また、11月25日は愛知県民の日学校ホリデーに伴い、こちらも臨時開館する。令和8年2～3月については、プール設備の大規模改修工事を行うので、この2か月は臨時休館する予定となっている。 青山記念武道館は、指定管理者の提案を受け、本来休館日である月曜日全てを開館する。年末年始の6日間が休館日になるのみで、他の日は開館する。 (久米委員) 青山記念武道館が、月曜日を開館する理由は何か。

	(スポーツ課長) より多くの方に、様々な種目で利用してもらいたいという思いだと理解している。武道館だが、ヨガや親子体操、プログラミングなど、様々な教室も開催している。 (久米委員) 指定管理者が変わった場合は、やり方も変わるのか。 (スポーツ課長) その可能性はある。指定管理者は公募により選定するので、こういったことも含めて提案いただく。
9) 地域課題解決支援コーナー設置	(図書館副主幹) この取組は、市民の市政への関心を高め、市民が地域の課題解決に向けた行動につなげていくため、施策に関連した図書等をまとめたコーナーを図書館本館に設置するものである。 目的としては、図書館の役割である「地域課題に対応したサービス」の一環として、各種施策の理解促進や課題解決に向けて参考となる図書資料等を配架したコーナーを設置し、市民の興味関心を高め、地域の課題解決に向けた行動につなげることである。 実施内容として、設置期間は、年間を通じて設置し、1施策につき1か月を目途とする。設置場所は、図書館本館内の受付カウンター付近の目に留まりやすい場所とする。施策やテーマの選定は、各施策推進所管課の意向を調査のうえ選定する。図書の選定や配架等は、所管課職員と図書館の司書が協働して、図書資料や啓発資料を選定する。また、施策によっては、所蔵資料が少ないことも想定されるため、必要性を判断し、予算の範囲内において図書館が購入し整備する。設置開始日は、令和7年4月1日。 施策選定に際して、現在、関係各課等へ意向調査をしているところである。
10) 各種事業について ①「令和7年半田市二十歳の集い」の開催報告 ②「ロビーコンサート」の開催 ③「アニメーション監督 新海岳人講演会」の開催	(生涯学習課長) ①出席率は77%で、ほぼ例年通りだった。今年度の式典は、非常に静かで、おとなしかった。市長挨拶のときも静かに聞いていた。一方で、お祝いに来られた先輩方の駐車マナー、態度が悪かった。南側道路に縦列駐車があり、ご迷惑をおかけしていたため警察を呼んだ。次年度は送迎車の対応について検討する。 ②瀧上工業雁宿ホール及び市役所において開催する。市役所では、和楽器を中心に行う。和楽器は初めての試みのため、どんな雰囲気になるかはわからないが、楽しみにしている。 ③アニメーション監督の新海岳人氏は、半田市出身で、半田中学校、半田高校の卒業生。映像ディレクターとしてNHKのEテレや東海テレビ

	で数々の番組が放映された。４０代前半であり、中高生や大学生、子育て世代といった比較的若い世代を対象に、キャリア教育の推進、郷土の誇りと愛着を持って新たな学びのきっかけ作りとする。１０月には、母校である半田中学校において、先行して講演会をやっていただいた。映像も流してくれ、テレビ放映されていた当時見ていた中学生らが盛り上がった。中には、今でもファンですという子もいた。親しみがあり、語り口調も聞きやすく、内容もよかった。
④「親子で落語を聞こう会」 ⑤「人形劇」 ⑥「大人のための図書館・博物館探検ツアー」 ⑦ 亀崎図書館「オタッシャ音読教室 2025 如月」	(図書館副主幹) ④半田大衆演芸くらの出演による落語の会。図書館という身近な施設で、日本伝統の話芸である落語を楽しんでいただくと共に、図書館には落語を題材にした絵本やＣＤもたくさんあり、そういった資料の利用促進を図るもの。 ⑤人形劇は、未就学児から小学校低学年対象で、人形劇を楽しんでもらうことで、子どもたちに絵本やお話の世界にも興味を持ってもらうことを狙いとしている。 ⑥普段は入れない図書館の閉架書庫、博物館収蔵庫を見学してもらうことで、施設に関心を持っていただき、更に施設を利用していただくための講座。 ⑦名作などを参加者全員で声に出して読み、心身と脳の活性化をはかる亀崎図書館で人気のシニア向け講座。
⑧ミニ展示「ひなまつり展」 ⑨ 旧中埜家住宅・桐華学園「和布あそび小物づくり」 ⑩「第３９回半田市博物館友の会合同展」	(博物館長) ⑧毎年開催しているもので、２月１日（土）から３月９日（日）まで、１階受付前の展示コーナーにて開催する。市民の方から寄贈していただいた御殿(ごてん)飾りの雛人形を始め、７段飾りの雛人形や、桐塑(とうそ)人形、乙川人形の内裏(だいり)雛などを展示する。また、期間中には県内３４館の博物館・資料館との連携事業として「ひなまつりスタンプシールラリー」も開催する。 ⑨この講座は、旧中埜家住宅の「多様な学びの場としての活用」の一環として行うもので、桐華家政専門学校との協働事業として行う。講座では、同校の先生方に手縫い・ミシン縫いの手順を教えていただきながら、和布を使った小物入れづくりを体験する。旧中埜家住宅が桐華洋裁学校として活用されていた歴史を楽しみながら学んでいただくとともに、美しい手仕事など、日本の素晴らしさを伝える講座としたいと考えている。開催日時・時間・定員等はチラシに記載のとおり。 ⑩博物館友の会には、「はたおり」「染色」「陶芸」「古文書」「歴史」の５つの部会がある。本展では、日頃の活動成果である部会員が製作した作品を中心に展示する。また、期間中には、部会員による体験・公開講座も開催する。開催日時・時間・定員等はチラシに記載のとおり。

⑪「ペーパーアート教室」	(新美南吉記念館長) ⑪ 2月22日に開催する。新美南吉記念館では、先週末から美浜町在住のペーパーアート作家榊原澄香氏の作品展を開催している。これに合わせて澄香氏の指導で、でんでんむしの図柄を、紙を使い半立体の絵画にする教室を行う。2月2日から受付開始する。
■各課からの事務連絡 (博物館)	(博物館) 2点連絡する。 1点目は「お囃子の披露」について。2月16日(日)午前11時から、現在博物館に展示している岩滑西組御福車で、お囃子の演奏を行う。山車組に人前で演奏する機会を提供するとともに、本物の演奏を聞いて山車や祭礼に興味をもっていただける人が増えてくれればいいなと思っている。 2点目は、「第30回知多・衣浦地区山車祭り交流会議」について。3月2日(日)10時から瀧上工業雁宿ホール大ホールで開催する。会議という名称だが、半田市内や他地区のからくり人形の上演もあり、一般の方にも見ていただくことができるもの。こちらも、本物のからくり人形を見ていただいて、山車や祭礼に興味をもっていただける人が増えてくれればいいなと思っている。どちらも市報2月号やホームページで案内する。
(学校教育課)	(学校教育課長) 先月この会議で紹介した、来年度から実施したいと考えている終業式の日の給食について現状を報告する。1月の校長会議の場で、正式に各学校に実施依頼を行った。具体的な実施方法や各学校への意向調査についても説明し、質問の時間を設けたが、特にどなたからも発言はなかった。 現在は、各学校の意向調査を進めているところで、今月末を回答期限としている。今日の朝までに、12校から回答があり、回答のあった学校では全て実施いただける状況となっている。
(教育部)	(教育部長) 教育委員会の事業ではないが、高病原性鳥インフルエンザについて報告する。県内で12例確認され、半田市内では2か所の養鶏場で確認されている。これらの情報の詳細は、愛知県のHPを見ていただきたい。半田市の状況については、24日までに殺処分を終了して、31日までに埋却、物資の焼却等を終える予定。県職員を中心に、作業は24時間体制で続いている。半田市にも協力要請があり、1月22日から10日間、3交替で延べ90人が従事する予定。 また、1月6日からは、半田びよログスポーツパークのバスロータリーにおいて、車両の消毒作業を行っている。作業員が現場に向かう前、

	現場での作業を終えたあと、車両を消毒している。
新美南吉記念館	(新美南吉記念館長) テレビ放送のお知らせ。NHKの「グレーテルのかまど」で新美南吉が紹介される。「グレーテルのかまど」は、毎回ひとつのお菓子を取り上げ、それにまつわるストーリーをVTRで紹介し、俳優の瀬戸康史氏がスタジオで実際に作ってみる、というNHKのEテレの番組。 今回は新美南吉の童話「牛をつないだ樁の木」に登場するあんまきを取り上げ、あわせて南吉が甘いもの好きの“スイーツ男子”だったエピソードが紹介される。 あんまきの取材は知立で行い、記念館では直筆資料の撮影、私やごんのふるさとネットワークの榊原事務局長へのインタビューを収録した。 2011年から続いている番組で、これまでもいろいろな作家や画家、マンガ家などを紹介してきた。今回南吉が取り上げられたのは、生誕110年記念事業として一昨年に図書館が企画・主催し、私が講師を務めた「南吉さんとおやつ～スイーツ男子南吉さんのおはなし～」という子ども向け行事の情報を制作会社の方がネットで見たのがきっかけだったとのこと。 放送は2月17日(月)夜10時から。24分間すべて南吉と南吉が好きだったお菓子で構成される。
教育委員からの 意見提言等 (1)	(久米委員) 先月の定例会でアジア競技大会、アジアパラ競技大会の報告があったが、県内でも西尾市や安城市など、各地域に会場が分散されていた。半田市でも競技会場として採用されるような施設にしてほしい。そこに有名選手が来て、間近でプレーする姿を見られたら、子どもたちもすごく嬉しいと思う。新体育館の構想の話があるが、ぜひそういった誘致ができるようなものを考えてほしい。 (スポーツ課長) 今回の大会には競技会場としては間に合わないが、半田びよログスポーツパークの競技場が天然芝ということもあり、練習会場の候補地となっている。陸上やサッカーについて、大会本部から打診を受けている。どの国の選手団が来るかはわからないが、可能な限り、子どもたちにも見学の機会を提供できるように考えていきたい。 新体育館は、更新計画を進めているところであり、PPP/PFIといった民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法も含めて検討している。

(2)	(正村委員) 先日ある会で、大人の読み聞かせを、図書館の司書さんにしてもらった。大人と言っても50歳代から80歳代くらいまでの方。それがとてもよかった。本の紹介をしてくれたのもよかった。参加者から、また絵本に触れてみようと思ったという声も聞いた。15名くらい集まるような団体を対象に無料で来てくれるとのことだったので、広く知ってもらえたら、文字離れや本離れにもいいと思う。大人になって読み聞かせをしてもらう機会は貴重で、ほっこりしてありがたいと思った。 (図書館副主幹) そういった声を聞けてありがたい。多くの方に知っていただくよう、広めていきたい。 (正村委員) 自分たちの活動の場に来てくれるのがいいようだ。
(3)	(桂委員) 宮池小学校の学校運営協議会として、子どもたちの放課後を豊かにしたいという目的で実施されているスミセイアフタースクールプロジェクトの「ほうかご勉強会」に参加する機会があり、そこで聞いた話を紹介する。 子どもたちに様々なプロジェクトを提供する際、その前後に実施した全国1,000人以上の小学生のアンケート結果について。一つは「放課後にやりたいことは何か」という質問。1番が遊び、2番がゲーム。3番が「なし」。やりたいことが見つからないのか、わからないのか、理由はわからない。もう一つは、「大人になってやってみたい楽しいこととは何か」という質問に対しても、1番が「なし」、2番が仕事、3番が車に乗る。これらの回答にショックを受けた。捉え方によっては、子どもたちは満たされているのかもしれないし、あるいは、欲求がないのかもしれないが、子どもたちにどう関わっていくか考えるきっかけになった。 (堀崎委員) 約10年前、キャリア教育に関する諸外国の子どもたちとの比較調査結果を見た。将来なりたい夢があるかという項目において、日本は極めて低い結果だった。外国では80%程度だったところ、日本は20%程度だったと思う。このときにも、なんとかしなければということで、キャリア教育のD(ドリーム)を充実していくことが一つの方策だと考えて取り組んできた。

	(教育長) 堀崎委員が勤めていた成岩小学校のキャリア教育は、今も脈々と受け継がれている。先日、成岩小学校の校長と話す機会があり、キャリア教育の話も聞いた。成岩小学校では、県が作成したキャリアパスポート（キャリア教育ノート）を活用しており、学校評価アンケートでは、夢があると回答した子が80%を超えていた。活用頻度は、月に10分程度だが、定期的に位置付けている。これだけではないだろうが、こういったことの積み重ねが、数字に結び付いているのかもしれない。なんらかの形で全ての学校に広めていけるといいと感じた。
その他	(教育長) 今月は、指導主事からの報告としては、問題行動について0件だった。様々な理由が考えられるが、一つは学校がきちんと対応していることだと思う。報告も早く、教育委員会としても可能な限り協力して対応している。また、生涯学習課の少年指導員の方も毎日来ていただき、継続的に関わってくれている。地域の多くの方々も学校を気にして、多くの人が集まってあいさつ運動を実施してくれるなど、活動を続けてくださっている。 子どもたち自身においても、受験シーズンに入って、徐々に進路が決まってくる子もいて、意識の高まりもあると思う。 こういったいろいろな要因が重なって今の姿があると思うが、みなさんの日頃からの関わりの賜物でもあると思うので、気を緩めず、地域の中の学校として関わりを太く、長く続けていけるといい。
次回開催等	(事務局) 2月定例教育委員会 日時：2月12日（水）10時00分～ 場所：半田市役所4階 庁議室 (教育長) 1月定例教育委員会を終了する。

〈 閉会 11時40分 〉